

2005 ©Carll Cneut

2005 ©Pawel Pawlak

世界の絵本がやってきた

ブラティスラヴァ世界絵本原画展

2006**12/5**(火)—2007**1/14**(日)

休館日 月曜日（ただし1月8日は開館）
※年末年始は12月25日から1月1日まで休館

開館時間 9:00～17:00（土曜日は19:00まで）※12月5日は10:00から
※入館は閉館の30分前まで

■主催／広島県立美術館・広島テレビ・読売新聞大阪本社・美術館連絡協議会
（社）日本国際児童図書評議会（JBBY）

■後援／スロヴァキア国際児童芸術協会(BIJAIA)、チェコ共和国大使館、スロヴァキア共和国大使館、日本チェコ協会、日本スロバキア協会、NHK広島放送局、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ひろしまPステーション76.6FM、エフエムふくやま

■協 賛／花王株式会社

■ 広島展協賛 ■ *Shoet* 章栄不動産

協 力／株式会社アット アームズ・株式会社レン コーポレーション

■入館料

一般	1,000円	(前売・団体800円)
高・大学生	600円	(前売・団体400円)
小・中学生	400円	(前売・団体200円)

※団体は、20名以上
※前売券は、広島県立美術館、チケットぴあ（Pコード687-098）、ローソンチケット（Lコード62907）、
広島市・県市の主なプレイガイド・画廊・画材店などでも販売しています。

2004 © HAN Byoung-ho

世界の 絵本がやってきた

ブラティスラヴァ世界絵本原画展

2006**12/5**(火)―2007**1/14**(日)

ブラティスラヴァ世界絵本原画展は、東西冷戦時代まっただ中の1967年、チェコスロヴァキアの古都ブラティスラヴァで第1回展が開かれました。当時、絵本芸術を通して世界各国の文化や伝統を理解し合おうとするこの試みは、平和への素晴らしい貢献だと高く評価されました。以来、2年ごとに開催され続け、現在ではスロヴァキアの首都となったブラティスラヴァで、40年の歴史を誇る世界最大規模の絵本原画展として発展しています。そして、その存在は、各国の文化や作家の個性が豊かに反映した多彩な出品作によって、多くの絵本原画展の中にあっても特別な存在として、その評価は益々高くなっています。

本展では昨年開催の第20回展から、各国の受賞作46点と日本人作家の出品作56点を中心に紹介します。また、特別展示として、子どもの本の黄金期を迎えた1920～30年代を中心に出版された、貴重なチェコの絵本と、その原画も紹介します。

絵本は手にとって観賞できるものとも身近な芸術と言えるかもしれませんが、しかし原画は、様々な材料や技法で表現され、中には同じ作品とは思えないものまであります。どちらが優れているというのではなく、それぞれにそれぞれの魅力があります。そうした、様々な魅力を様々な角度から楽しめる会場を用意しました。この機会に、是非、多様性に富む絵本の世界にふれてみてはいかがでしょうか。

講演会

日 時：平成18年12月9日(土) 14:00～
講 師：小野かおる(絵本作家 スペースデザイナー)
テーマ：「絵本をつくるということ」
場 所：県立美術館地階講堂

ワークショップ

日 時：平成18年12月19日(火)～24日(日)
10:00～16:00
講 師：戸川幸一郎(絵本作家 広島芸術専門学校講師)
内 容：①自分の絵本を作ってみよう
②オリジナル・ポップアップ・カードを作ろう
場 所：県立美術館地階県民ギャラリー
※詳しくはホームページまたは広島県立美術館へ直接お問い合わせ下さい。

読み語り

毎週土曜日と日曜日の午後2時から3時から(各30分程度)、ボランティアによる読み語りを予定しています。
※これ以外にも不定期な読み語りがあります。詳しくはホームページまたは広島県立美術館へ直接お問い合わせ下さい。

アニメーションの上映

会期中毎日、絵本をもとにしたチェコの珍しいアニメーションを上映します。(入館券が必要です。)

ギャラリートーク

12月8日(金)、22日(金)、1月5日(金)、12日(金)
各回11:00～ 30分程度
※入館券が必要です。



◎JR広島駅より約1km ◎広島城より約400m
◎市内電車(「八丁堀」乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM
〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444
http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/

Shoel 章栄不動産



【グランプリ】アリ・レザ・ゴルドゥジャン 黒鉛筆と赤鉛筆(原画) 2004 Shabaviz蔵 ©Ali Reza Goldouzian



【グランプリ】アリ・レザ・ゴルドゥジャン 穴のあいた靴下(原画) 2003 Shabaviz蔵 ©Ali Reza Goldouzian



【金のりんご賞】リュボスラウ・パリオ 1+1=2(原画) 2003 ©L'uboslav Pal'o



【金のりんご賞】ハン・ビョンホ 鳥になりたい(原画) 2004 ©HAN Byoung-ho



【金牌】アラン・ゴートイエ 私の「ロバの皮」(原画) 2002 ©Alain Gauthier



【金牌】カルル・クヌート 悪女フリート(原画) 2005 ©Carli Cneut

XX. Bienále ilustrácií Bratislava Slovensko